

# 税関の年末特別警戒における副大臣、政務官の税関視察及び激励について

関税局監視課調査官 田中 翔

## 1 はじめに

令和2年12月、伊藤財務副大臣、中西財務副大臣、船橋財務大臣政務官、元榮財務大臣政務官が、全国9つある税関において実施した年末特別警戒において、それぞれ名古屋税関、横浜税関、函館税関、東京税関を視察しました。

## 2 年末特別警戒とは

税関職員は、国民生活の安全・安心を脅かす麻薬・覚醒剤等の不正薬物、爆発物等のテロ関連物資、金地金等の密輸を防止するため、全国の港や空港などの水際で24時間、365日、取締りを行っています。毎年12月には税関の役割について広く国民の方々に知っていただくことや、各種団体の方々に不審情報の提供について協力を求めること等を目的として、年末特別警戒を実施し、水際における取締りの強化や税関業務のPRを行っています。

この年末特別警戒は、昭和40年から実施しているものですが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に見舞われている最中での実施となりました。

税関を取り巻く情勢としては、コロナ禍においても、国際物流は堅調に推移し、不正薬物等やテロ関連物資、金地金等の密輸リスクは依然として深刻です。不正薬物については、令和元年における税関での押収量が史上初めて3トンを超え、令和2年上半期における摘発件数、押収量はコロナ等の影響もあり減少したものの、コカイン、MDMA等の麻薬及び大麻樹脂等の押収量は増加している状況です。

また、本年7月には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が迫っており、我が国の水際の第一線にある税関の役割はより一層重要になっています。こうした状況の中で実施された年末特別警戒にお

いて、両副大臣、両政務官が税関の現場を視察し、訓示を行い、税関職員を激励しました。

## 3 副大臣、政務官の税関視察

伊藤財務副大臣、中西財務副大臣、船橋財務大臣政務官、元榮財務大臣政務官は、視察において職員に対し、

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大という、過去に例を見ない事態に直面している中、職員が、厳正な規律を保ち、旺盛な意欲を持って、水際の最前線で職務に精励していることに、敬意の念を表す。
  - (2) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が迫っていることから、テロ対策には万全を期すとともに、今後のインバウンドの回復を念頭に、円滑な通関と厳格な取締りを両立し、国民の安全・安心の確保という税関の重要な使命を果たしていただきたい。
  - (3) 税関行政は日々国民と直接接する仕事である。国民からの信頼にこたえていくため、日夜懸命に職務に取り組んでいる職員各位に改めて敬意を表するとともに、健康と益々の活躍を祈念する。
- 旨の訓示を行いました。



## ◆伊藤副大臣の名古屋税関視察(令和2年12月11日(金))

名古屋税関本関において通関審査状況等を視察しました。その後、稲永分室において各種取締・検査機器を、中部国際空港においては税関検査場電子申告ゲートを視察しました。また、麻薬探知犬管理センターでの視察では、自ら旅客に扮して麻薬探知犬による訓練に参加しました。



儀仗隊による出迎え



職員に対する訓示



稲永分室にて取締・検査機器の説明を受ける伊藤副大臣



中部国際空港にて税関検査場電子申告ゲートの説明を受ける伊藤副大臣

## ◆中西副大臣の横浜税関視察(令和2年12月10日(木))

横浜港において監視艇「つくばね」に乗船し、港内を視察したほか、横浜税関コンテナ検査センターにおいて大型X線検査装置によるコンテナ検査の様子等について説明を受けました。中西副大臣による不正薬物の取締り状況についての質問をはじめ、活発な意見交換が行われました。



儀仗隊による出迎え



職員に対する訓示



監視艇に乗船し説明を受ける中西副大臣



コンテナ検査センターにて職員を激励

◆船橋政務官の函館税関視察(令和2年12月14日(月))

函館税関本関において通関審査状況や、取締・検査機器等を視察したほか、函館港内において監視艇「しらかみ」に乗船し、港内を視察しました。また、函館空港、新千歳空港において入国検査場を視察した後、苫小牧コンテナ検査センターにおいて大型X線検査装置によるコンテナ検査の様子等の説明に熱心に耳を傾けました。



儀仗隊による出迎え



監視艇に乗船し説明を受ける船橋政務官



新千歳空港にて税関検査場電子申告ゲートの説明を受ける船橋政務官



苫小牧コンテナ検査センターにて大型X線検査装置の説明を受ける船橋政務官

◆元榮政務官の東京税関視察(令和2年12月16日(水))

青海コンテナ検査センターにおいて大型X線検査装置によるコンテナ検査の様子等を視察したほか、東京港において、監視艇「あさひ」に乗船し、港内を視察しました。また、東京税関本関では取締状況や通関審査状況等を、羽田空港では入国検査場の旅客の検査状況等を視察し、職員からの説明に熱心に耳を傾けました。



儀仗隊による出迎え



監視艇による港内の視察



本関にて摘発物件の説明を受ける元榮政務官



羽田空港にて麻薬探知犬検査の説明を受ける元榮政務官

4 おわりに

税関においては、いよいよ間近に迫った東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、関係機関と協力してテロの未然防止のため水際対策を強化していきます。皆さまの税関業務に対するご理解とご協力をお願いいたします。

また、テロ・密輸など不審な情報に接した場合は、些細な情報でも結構ですので以下の税関密輸ダイヤル

に通報をお願いいたします。

密輸情報の提供のお願い

密輸防止には皆様の情報提供が大きな力となります。身の回りで「不審な貨物」や「あやしい言動をする不審者」などを目にした際は税関密輸情報窓口にご連絡ください。

税関密輸ダイヤル(24時間受付)

フリーダイヤル 0120 - 461 - 961

許しません シロイ(粉) クロイ(武器)

税関:密輸情報提供サイト

<https://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>



税関密輸情報提供サイトQRコード